

事業概要シート

施策 2302 市民活動の支援と協働の推進

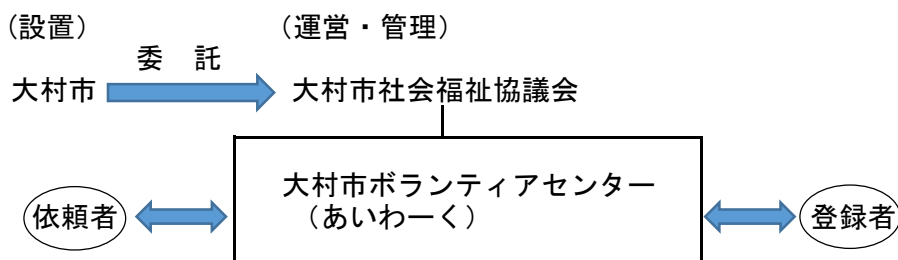
<<>>の金額 現年度当初・補正予算、前年度繰越額の合計
 ※ 補正予算要求時は今回の補正予算額を除く。
 ※ 次年度予算要求時は次年度繰越額を除く。

事業名	ボランティア活動支援事業	現状維持	予算額	6,975 千円
				<< 6,899 >>千円
事業期間	平成14年度 ~	財源内訳	国庫支出金	千円
			県支出金	千円
根拠法令要綱等	市民活動を推進するための基本方針		地方債	千円
			その他	千円
			一般財源	6,975 千円

【事業の目的・概要・対象】

大村市ボランティアセンターを拠点としてNPOやボランティアの活動を拡大することにより、市民活動の推進を図ることを目的とする。

- ・ ボランティアセンターの運営管理について、大村市社会福祉協議会に業務委託し、ボランティアやNPO活動に関する情報の収集や提供を行う。また、ボランティア活動の提供者である団体や個人に登録してもらい、コーディネーターによる紹介、斡旋を行う。
- ・ ボランティア養成のための講座や市民参加によるイベント等を行い、ボランティア活動の啓発を行う。
- ・ ボランティア間の交流を図るため、情報掲示コーナーや交流スペース等の施設を提供する。



【業務内容】

- ・ ボランティア紹介、相談、情報提供
- ・ ボランティアルームの貸し出し
- ・ ボランティア保険加入
- ・ 講座の開催

【事業費内訳】

- ・ 人件費（嘱託2名分）
- ・ 事務費（事務機器リース料、消耗品、講師謝礼など）

【背景】

今後、多様化・複雑化する市民のニーズに対応するためには、市民と行政が協働して地域課題の解決に取り組む必要がある。

担当課	男女いきいき推進課	課長	橋本 学
担当者	東 奈美	問合せ先	0957-54-8715

事業概要シート

【活動指標】

指標名		単位	H30 (実績)	R1 (計画)	R2 (計画)	R3 (計画)	R4 (計画)
①	講座開催数	回	16	17	20	20	20
②	講座受講者数	人	220	200	200	200	200

【成果指標】

指標名		単位	H30 (実績)	R1 (計画)	R2 (計画)	R3 (計画)	R4 (計画)
①	ボランティアセンター個人登録者数	人	472	490	500	500	500
②	ボランティア団体の登録数	団体	91	90	100	100	100

【予算・決算】 (千円)

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	合計
事業費	6,691	6,763	6,899	6,975	6,975	6,975	41,278
国庫支出金							0
県支出金							0
地方債							0
その他							0
一般財源	6,691	6,763	6,899	6,975	6,975	6,975	41,278
人件費		4,000	3,292	3,292	3,292	3,292	17,169
職員(人)	0.55人	0.55人	0.45人	0.45人	0.45人	0.45人	2.90人
時間外勤務(h)	7h	0h	10h	10h	10h	10h	47h
嘱託員(人)							0.00人
フルコスト	6,691	10,763	10,191	10,267	10,267	10,267	58,447

妥当性 (市の関与)	NPOやボランティアの活動の場の提供、市民のボランティアに対する意識の啓発及び実践的な活動推進のため、ボランティアセンターの果たす役割は重要である。 当市では、第5次総合計画において市民との協働型市政の推進を掲げ、ボランティアの普及啓発・人材育成に努めた。今後も、NPO・ボランティア活動を拡大・推進していくことが重要であり、市の関与は不可欠である。
有効性 (施策貢献度)	定期・短期のボランティア派遣件数及び派遣者数は年々増加しており、市民のボランティアに対する意識も高まりつつある。市民との協働型市政の推進の面から、市民のNPO・ボランティア活動の場の提供、ボランティア活動の啓発といった役割を果たす、ボランティアセンターの活動は有効である。
効率性 (コスト)	ボランティアセンターの運営は大村市社会福祉協議会に委託している。 毎年度、人件費や事務費を見直しており、これ以上の経費削減の余地はない。講座等の受講料等についても、市民がボランティア活動を行うことを目的としたものであり、さらなるNPO・ボランティア活動の拡大・推進のためには、見直しの余地はない。

1次評価	担当者意見のとおり
2次評価	